学校番号	2003

平成３１年度　芸術科〔書道〕

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次 ３年次
使用教科書	「新編書道Ⅰ」　（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校国語科「書写」から、芸術科「書道」の違いを学びましょう。
・自ら観て、感じ、表現する方法を学びましょう。

2　学習の到達目標

鑑賞と表現の基礎的能力を自主的に学び、伝統文化の理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけている。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察	レポート 作品	レポート 作品	レポート 作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	漢字の書(楷書)	【オリエンテーション】 ・小学校・中学校「書写」と芸術科「書道」 ・書体の変遷 ・用具・用材 ・用筆・運筆 ・生活の中の書 【楷書】 ・楷書について ・鑑賞と臨書 ・創作 ・硬筆	○	○	○	○	a:小学校・中学校国語科「書写」から芸術科「書道」の違いを知り、用具・用材などを整え正しく使用し、意欲的に取り組もうとする。 b:小学校・中学校国語科「書写」と芸術科「書道」の違いを知り、表現を工夫している c:姿勢や執筆法の基本を身につけ、表現している。 d:様々な作品を観て、感じ、基礎的能力を高め、創造的に味わっている。	観察 レポート 作品
2学期	漢字の書(行書)	【行書】 ・行書について ・鑑賞と臨書 ・創作	○	○			a:基礎的な能力を身につけ、その向上に努め、自主的に取り組もうとする b:書の背景を知り、何が違うかを観て、感じ、表現の工夫をしている。	観察 レポート 作品
	漢字仮名交じりの書	【漢字仮名交じりの書】 ・漢字仮名交じりの書について ・用具・用材 ・意図に応じた表現 ・創作(オリジナルのことば) ・篆刻(印を作る)	○	○		○	a:楷書・行書に仮名を加え、用具・用材の工夫など、自由な発想を生かし、積極的に取り組もうとする。 b:様々な分野のアーティスト作品を観て、感じ、よさを知り、個性を生かした表現にしている。 d:様々な分野のアーティスト作品について幅広く理解し、その価値を考え、作品のよさや美しさを創造的に味わっている	観察 レポート 作品
3学期	仮名の書	【仮名】 ・仮名について ・用具・用材 ・用筆・運筆 ・平仮名・変体仮名 ・連綿 ・鑑賞と臨書 ・創作	○	○			a:日本独自に発展した仮名に関心を持ち、自主的に取り組もうとしている。 b:平安時代の国風文化と仮名を観て、感じ、良さを知り、基礎的能力を高め、創作の表現を工夫している。	観察 レポート 作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。